

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：石崎 隆弘

事業名 かんじょういちごう 環状一号線	事業区分 街路	事業主体 山口県
起終点 自：山口県防府市沖今宿二丁目 至：山口県防府市新築地町		延長 1.1 km
事業概要 環状一号線は、国道2号を起点に防府市の臨海部工場地帯を経て主要県道防府停車場線へ至る外郭環状幹線道路であり、臨海工場群と国道2号とが接続されることとなり、産業振興に資するとともに中心市街地での安全確保及び生活環境改善を図ることを目的としている。		
H2年度事業化	S57年度都市計画決定 (H14年度変更)	H2年度用地着手 H8年度工事着手
全体事業費	65億円	事業進捗率 72% 供用済延長 0 km
計画交通量	15,300台/日	
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 8.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 15/74億円 (事業費：14.1/73.4億円 維持管理費：0.6/0.6億円)
	総便益 (残事業)/(事業全体) 126/126億円 (走行時間短縮便益：124.1億円 走行費用減少便益：1.5億円 交通事故減少便益：0.4億円)	基準年 平成16年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.9(交通量+10%) B/C=1.5(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.7(事業費+10%) B/C=1.8(事業費-10%) 事業期間：B/C=1.6(事業費+1年) B/C=1.8(事業費-1年)		
事業の効果等 物流効率化の支援(臨海工場群へのアクセスが向上) 災害への備え(緊急輸送道路の位置付けあり) 外5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 環状一号線は、産業振興と市街地の安全確保及び生活環境改善に重要な役割を果たすことが期待されている。また、防府市より早期整備の要望を受けている		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・防府駅周辺の市街地整備が進み、良好な中心市街地が形成されつつある。 ・その他重大な影響のある周辺環境の変化は無い。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成8年度から工事に着手し、残る工事はJR跨線部の下部工、高架部上部工、舗装工である。また、用地取得は完了している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る橋梁上下部工工事を実施し、平成19年度事業完了を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 施工性、経済性を考慮し工事を施工しており、擁壁構造を見直し、舗装工では再生材を活用する等、コスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況から、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。